

平成25年度 村上市理科部 活動報告

部長 平山 裕也 (村上小)

1 研究主題

- (1) 学習指導要領改訂の趣旨の理解と、日々の学習指導に活かせる指導力を高めるための研修を進める。
- (2) 先進の教育実践者の指導法と理論に学ぶ。

2 研究の概要

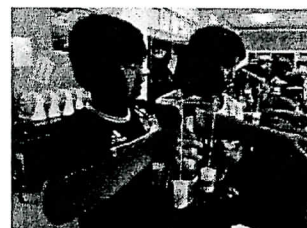
- 4月30日 地区代表部員会 (保内小学校)
・役員選出 ・理科部研究計画の検討
- 5月27日 研修会「授業研修会」(小川小学校)
・単元名 4学年「電気のはたらき」授業者 佐久間 淳子 教諭
・指導者 下越教育事務所 支援第2課指導主事 中野 國芳 様
- 8月 2日 研修会「夏の植物観察会」(下渡山)
・講師 河内 花子 様 (理科センターと共催事業)
・イヨボヤ会館駐車場から下渡山に登りながら周辺に見られる植物を観察
- 8月20日 研修会 教育課程伝達講習会・教材研修会 (村上市理科教育センター)
・講師 一ノ瀬 壽和 教諭 (保内小学校)
・講師 武藤 重之 教諭 (村上市理科教育センター)
- 11月 1日 研修会「理科指導研究発表会」(小川小学校)
(1) 公開授業 6学年「ものの燃え方と空気」 授業者 上村 克俊 教諭
(2) 師範授業「もののとけかた」講師 筑波大学附属小学校 教官 森田 和良 様
(3) 研究協議会

3 研究の実際

村上市立小川小学校は、村上市小学校教育研究会の指定を受け2年間理科学習指導授業研究会に取組んだ。「見通しをもって、自ら問題解決を図る理科指導の工夫～教えて考えさせる指導を通して～」という研究主題で、本年度は小教研理科部に2回、授業公開をしてもらった。

5月の授業公開は、乾電池2個の並列つなぎと直列つなぎの特徴を調べの次時である。「メリーゴーラウンドのおもちゃにふさわしいつなぎ方はどちらか」という発展的な課題で授業が行われた。児童は、電流の強さをキーワードとして、どちらのつなぎ方がふさわしいのか話し合った。並列つなぎが長持ちすることを、ペットボトルを使った水回路モデルを見せることで理解を深めていった。

11月の授業公開は、単元の終末に「酸素30%、二酸化炭素70%にした気体の中でのろうそくの燃え方」を考えさせ、確かめる実験を行った。児童は発展的な課題を予想し確かめることを通して、物が燃えることには酸素の量だけに関係していることに気が付いていった。



4 成果と課題

○ 成果

小川小学校の2回の公開授業では、先進的な研究をされている筑波大附属小の森田先生より「もののとけかた」師範授業いただいた。その師範授業から児童が学んだ知識を基にして考える発展的な展開について研修することができた。今後の授業実践で、発展的な課題に取組ませたいと思える研修ができた。

○ 課題

部員対象の研修会が4回行った。全研修会の内、参加人数が少なかった研修会が複数回あった。今後、参加者が多くなるような工夫をする必要がある。